

公表

事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	さくら児童デイサービス上倉田		
○保護者評価実施期間	2026年2月15日		～ 2026年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2026年2月15日		～ 2026年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学習支援を行い、高等特別支援学校の受検対策や中学校一般級における定期試験対策、自己肯定感向上の為に事業所を漢字検定認定準会場に認定されることにより、気軽に検定を受検し、検定合格という成功体験が経験できること。	お子様と保護者様のニーズに応えられるよう、関係機関と緊密に連携し、有益な情報を提供できるようにしている。また、職員の資質向上の為、定期的に研修を行っている。	お子様と保護者様のニーズの増加に伴い、事業所の体制の強化を図り、受け入れ定員を増やしていく。
2	不登校支援を行い、お子様のみならず、保護者様に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や保護者様等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っていること。	保護者様の希望に応じて、事業所でペアレント・トレーニング等を個別で実施している。また、必要と認められれば、外部の研修などの情報提供もしている。	お子様の通う学校等と連携して、ペアレント・トレーニングの実施状況等を共有し、ご家庭、事業所、学校等で統一した支援が行えるように調整している。
3	職業体験企画を行い、様々な業種の職業を体験することにより、お子様の適性や適正な進路選択の支援をしていること。	地域ケアプラザ等の関係機関及び地元の農家や企業等と、お子様達に最高の体験を提供できるように、日々、連携を図っている。	関係機関等との連携を強化し、地域でお子様の成長を支えることができる事業所として、これからもお子様や保護者様に寄り添った支援ができるように努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげられていないこと。	第三者による外部評価の重要性を認識しているものの第三者委員を受任していただける方がなかなか見つからず、外部評価が受けられないので、業務改善につなげられていない。	同じ課題を抱えている事業所と連携し、相互に第三者委員となり、外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげられるようにしていく。
2	きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていないこと。	プログラム時間も限られているため、きょうだい同士の交流の機会がなく、きょうだいへの支援の機会が得られていない。	事業所における漢字検定の実施の際、きょうだいの積極的な参加を促し、きょうだい同士の交流の機会を設け、きょうだいへの支援を行っていく。
3	職員1人1人の能力の差によって、実施する療育の質の差が出てしまうこと。	職員の経験の差や知識量の差によって、能力にばらつきが見られる。	今後、能力の差によって療育の質の差が出ないように、研修制度を充実させていく。